

美里町立南郷病院
経営強化プラン

令和 6 年度点検・評価

令和 7 年 1 1 月

美里町立南郷病院運営委員会

1 収支計画と決算状況

(1) 令和6年度収益的収支

(単位：円)

区分		計画	決算	比較 (※)
収入	1 医業収益 a	474,776,000	465,252,573	△9,523,427
	(1) 料金収入	392,867,000	381,418,252	△11,448,748
	入院収益	248,492,000	251,521,951	3,029,951
	外来収益	144,375,000	129,896,301	△14,478,699
	(2) その他	81,909,000	83,834,321	1,925,321
	うち他会計負担金	36,294,000	36,294,000	0
	うち基準内繰入金	36,294,000	36,294,000	0
	2 医業外収益	222,454,000	222,735,486	281,486
	(1) 他会計負担金	180,728,000	179,866,000	△862,000
	うち基準内繰入金	180,728,000	179,866,000	△862,000
	(2) 他会計補助金	12,978,000	13,840,000	862,000
	(3) 国（県）補助金		420,000	420,000
	(4) 長期前受金戻入	27,748,000	27,573,000	△175,000
	(5) その他	1,000,000	1,036,486	36,486
	経常収益 (A)	697,230,000	687,988,059	△9,241,941
支出	1 医業費用 b	699,851,000	721,987,657	22,136,657
	(1) 職員給与費 (K)	418,867,000	433,608,586	14,741,586
	基本給	135,660,000	147,287,100	11,627,100
	その他	283,207,000	286,321,486	3,114,486
	(2) 材料費	61,000,000	73,644,938	12,644,938
	うち薬品費	32,802,000	38,828,400	6,026,400
	(3) 経費	141,926,000	135,528,111	△6,397,889
	うち委託料	84,080,000	82,827,539	△1,252,461
	(4) 減価償却費	46,566,000	46,216,108	△349,892
	(5) その他	31,492,000	32,989,914	1,497,914
	2 医業外費用	19,256,000	26,194,318	6,938,318
	(1) 支払利息	1,972,000	2,099,690	127,690
	(2) その他	17,284,000	24,094,628	6,810,628
	経常費用 (B)	719,107,000	748,181,975	29,074,975
経常損益(A)－(B) = (C)		△21,877,000	△60,193,916	△38,316,916

※比較の△表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

区分		計画	決算	比較 (※)
特別損益	1 特別利益 (D)	—	483,251	—
	2 特別損失 (E)	—	0	—
	特別損益 (D)－(E)＝(F)	—	483,251	—
純損益 (C) + (F)		△21,877,000	△59,710,665	△37,833,665
累積欠損金 (G)		478,385,000	538,165,065	59,780,065
流動資産		201,241,000	153,507,322	△47,733,678
うち未収金		60,894,000	59,784,172	△1,109,828
流動負債		81,211,000	78,339,031	△2,871,969
うち未払金		35,955,000	30,662,634	△5,292,366
単年度資金収支額 ＝（前年度流動負債－前年度流動資産）－ （当年度流動負債－当年度流動資産） ※翌年度繰越財源なし		14,161,000	△9,775,111	△23,936,111
累積欠損金比率(G)／a×100		100.8%	115.7%	14.9%
医業収支比率 a／b×100		67.8%	64.4%	△3.4%
修正医業収支比率×100		62.7%	59.4%	△3.3%
経常収支比率(A)／(B)×100		97.0%	92.0%	△5.0%
職員給与比率(K)／a×100		88.2%	93.2%	5.0%

※比較の△表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

一般会計等からの繰入金の見通し	計画	決算	比較 (※)
収益的収支	230,000,000	230,000,000	0

※比較の△表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

収益的収支の評価
<p>経常収益では、新型コロナウイルス感染症に係る補助金や予防接種の収益がなくなったことにより計画値を下回った。特に外来収益は患者数、収益ともに計画値に比べ大幅に減少した。入院収益については、年延入院患者数が前年度と比較して増加しており、ほぼ計画値どおりの収益であった。医業収益全体では、計画値をやや下回った状況にある。経常費用全体で支出の計画値を大幅に上回る事となった。要因として、職員給与費の増加、物価高騰による材料費、経費等の増加が大きくなっている。職員給与費は制度改正により会計年度任用職員に対する期末・勤勉手当の支給、正規職員の給料のベースアップにより職員給与費を押し上げることに至った。経常損益において、目標としていた黒字を達することができなかったが、不採算地区にある公立病院として、赤字が生じて地域住民に安心・安全な医療を提供するため、費用の抑制、収益確保対策に努めながら医療提供を行っていく。</p>

(2) 令和6年度資本的収支

(単位：円)

区分		計画	決算	比較 (※)
収入	1 企業債	50,000,000	52,000,000	2,000,000
	2 他会計出資金	—	—	—
	3 他会計負担金	41,096,000	41,096,000	0
	うち基準内繰入金	41,096,000	41,096,000	0
	4 他会計借入金	—	—	—
	5 他会計補助金	—	—	—
	6 国（県）補助金	—	10,144,000	10,144,000
	7 工事負担金	—	—	—
	8 固定資産売却代金	—	—	—
	9 その他	—	—	—
	収入計 (a)	91,096,000	103,240,000	12,144,000
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額(b)	—	—	—
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	—	—	—
	純計(a)－{(b)+(c)} (A)	91,096,000	103,240,000	12,144,000
支出	1 建設改良費	51,700,000	64,714,760	13,014,760
	2 企業債償還金	64,579,000	64,579,413	413
	うち建設改良のための企業債分	64,579,000	64,579,413	413
	3 他会計長期借入金返還金	—	—	—
	4 その他	—	—	—
	支出計 (B)	116,279,000	129,294,173	13,015,173
差引不足額(B)－(A)＝ (C)		25,183,000	26,054,173	871,173
補てん財源	1 損益勘定留保資金	25,183,000	26,054,173	871,173
	2 利益剰余金処分額	—	—	—
	3 繰越工事資金	—	—	—
	4 その他	—	—	—
	計 (D)	25,183,000	26,054,173	871,173
補てん財源不足額(C)-(D)＝ (E)		0	0	0
企業債残高		121,262,000	121,261,430	△570

※比較の△表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

一般会計等からの繰入金の見通し	計画	決算	比較 (※)
資本的収支	41,096,000	41,096,000	0

※比較の△表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

資本的収支の評価
病院建設に係る企業債の償還が令和6年度に完了した。今後は、令和6年8月に策定した施設維持管理計画に基づき施設整備や機器更新を進める。

2 医療の質や機能、連携の強化に係る数値目標

指標区分	項目	単位	R4 実績	R5 実績	R6 実績	数値目標			
						R6	R 7	R 8	R 9
医療機能に係る指標	紹介からの入院率	%/年	27.4	26.9	26.4	30%以上			
	訪問診療件数	件/年	180	118	82	年間 200 件以上			
	人間ドック受診者数	件/年	140	119	133	150	160	170	180
	各種健診受診者数	件/年	1,226	1,253	1,250	1,300	1,350	1,400	1,450
医療の質に係る指標	入院栄養食事指導料の算定件数	件/年	1	3	3	10	15	20	25
	外来栄養食事指導料の算定件数	件/年	10	7	11	20	25	30	35
連携強化に係る指標	紹介(情報提供書)件数	件/年	580	475	527	600	620	640	660
	逆紹介(情報提供書)件数	件/年	291	247	253	320	340	360	380
	基幹病院からの紹介者数	人/年	87	101	111	92	98	105	112

3 経営の効率化等

・経営指標に係る数値目標

指標	単位	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R6 計画	R7 計画	R8 計画	R9 計画
経常収支比率	%	105.0	98.5	92.0	97.0	97.6	98.8	100.2
修正医業収支比率	%	64.1	61.8	59.4	63.3	63.3	64.1	65.4
病床利用率	%	69.1	61.6	65.1	74.0	74.0	76.0	76.0
入院患者 1 人 1 日当たりの診療収入	円	18,178	21,182	21,168	18,400	18,800	18,800	19,500
外来患者 1 人 1 日当たりの診療収入	円	7,881	8,034	7,740	7,800	7,800	7,800	7,800
職員一人当たりの料金収入	円	11,462	10,657	10,897	11,554	11,770	12,028	12,392

(1) 診療報酬算定強化の取組による収益増加対策

分類	診療報酬項目	単価 (金額)	R4 実績 件数	R5 実績 件数	R6 実績 件数	目標件数			
						R6	R7	R8	R9
診療報酬 算定強化	救急医療管理加算	10,500	62	66	106	80	90	100	100
	退院時診療情報添付加算	4,500	106	109	108	130	140	150	150
	看護補助加算 1	1,410	226	233	270	270	290	300	300

(2) 新規施設基準の取得による収益増加対策

分類	診療報酬項目	単価 (金額)	実績	目標件数				
			R6	R6	R7	R8	R9	
新規取得施設基準	医療安全対策加算	300	0	10	20	30	40	
	薬剤管理指導料	3,250	0	10	20	20	20	
	認知症ケア加算 3	100～440	36	10	20	30	40	

(3) 経費削減対策

単位：％

取組項目	目標基準	実績			
		R6	R7	R8	R9
人件費比率の適正化対策	80%以下	93.2			
診療材料費、薬品費の削減対策 (料金収入に対する割合)	15%以下	19.3			

(4) 人材育成及び組織活性化対策

取組項目		具体的な取組内容
1	人事評価制度の充実	人事評価については、町の人事評価制度により運用を行っている。目標設定、達成状況を期首・期末面談により人材育成を行った。
2	職員研修の充実	<p>(1) 職員研修</p> <p>①全体研修 6回(感染対策研修2回、医療安全研修3回、身体拘束最小化研修1回)</p> <p>②看護部門研修 10回(看護補助員研修3回、教育委員主催研修5回、その他研修2回)</p> <p>(2) 外部研修(オンライン研修を含む) 18回</p> <p>参加人数：31人(看護科を中心に院外研修を実施し、専門的なスキルアップを図った。)</p>

(5) 診療所・施設との連携強化及び町保健事業への参画

取組項目		具体的な取組内容
1	地域医療連携の推進	令和 5 年 10 月に締結した「大崎地域の医療提供体制の確保に係る連携協約」に定めた、1.機能分化・連携強化、2.夜間における診療体制の整備、3.職員派遣雄実施、4.遠隔医療等の活用、5.医療資源の共有、6.新興感染症発生等への備えについて、大崎地域の 1 市 4 町において、進捗状況について協議を行った。
2	訪問看護ステーションとの連携強化	在宅で治療を続けている患者さんについては、訪問看護ステーションとの連携を図り、急変時の対応等在宅診療の支援を行った。
3	診療所及び介護サービス事業所との連携強化	主治医意見書等の提供を行い、介護サービス事業所との連携を行っている。また、令和 6 年度から開始した訪問予防接種について、3 事業所 79 人に対して予防接種を行った。 ・令和 6 年度主治医意見書：199 件
4	特定保健指導件数	・令和 6 年度：実績なし

4 総合評価

令和 6 年度 総合評価
<p>【総括】</p> <p>令和 5 年 10 月に、大崎地域の 1 市 4 町において、相互の役割分担・連携強化を行い大崎地域における持続可能な医療提供体制の実現の実効性を確保するために連携協約を締結し、令和 6 年 3 月に美里町立南郷病院経営強化プランを策定し、持続可能な医療提供体制を構築するための指針としたところです。</p> <p>令和 6 年度の新たな取り組みとして、院内感染の防止及び適切な感染治療の確立をめざした感染管理科の設置、町内 7 か所の事業所で訪問予防接種を行いました。</p> <p>しかしながら、外来収益や入院収益だけでの経営は困難な状況にあります。今般の新型コロナウイルス感染症の流行により再認識された公立病院の役割を今後も担うためにも、繰出基準に基づいた一般会計の繰出金は、当院の経営に必要な収入となります。</p> <p>地域の医療拠点病院として安定的に医療提供できる体制を維持するため、引き続き器械等の整備に加えて医師、看護師等の医療スタッフの確保に努めてまいります。</p> <p>(1) 患者の状況</p> <p>年延外来患者数は、平成 23 年度をピークに年々減少している状況にありました</p>

が、令和6年度は前年度と比較して66人の増となり現状維持となりました。年延入院患者数についても、前年度と比較して580人の増となりました。

(2) 医師確保の状況

本年度末の常勤医師は内科医1人、外科医1人です。

内科、外科、小児科、整形外科、眼科の診療には、常勤の医師が不足しているため、東北大学病院等から医師の派遣をいただき、必要な診療体制の維持に努めました。次年度以降も継続して医師確保に努めます。

(3) 看護師確保の状況

常勤の看護師は19人、准看護師は4人です。短時間勤務の会計年度任用職員は、看護師4人、准看護師3人の7人です。

(4) 経営状況

・純損益

前年度純損益10,645,427円の純損失に対し、今年度純損益は59,710,665円の純損失となっています。新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行したことに伴い、新型コロナウイルス感染症対策事業医療提供体制整備費補助金の減少が主な要因となっています。

・収益的収入

①医業収益

医業収益465,252,573円は、前年度と比較して3,203,678円の増となっており、新型コロナウイルスワクチン接種の減少によりその他医業収益が減少したものの入院収益が増加したことが主な要因となっています。

②医業外収益

医業外収益222,735,486円は、前年度と比較して20,276,501円の減少となっており、新型コロナウイルス感染症対策関連の県補助金の減少が主な要因となっています。

・収益的支出

①医業費用

医業費用721,987,657円は、前年度と比較して32,601,403円の増加となっています。

②医業外費用

医業外費用26,194,318円は、前年度と比較して277,444円の減少となっています。

・資本的収入及び支出

収入の合計金額103,240,000円は、前年度と比較して3,650,250円の減少となっており、企業債償還金の減少に伴い一般会計負担金が減少したことが主な要因となっています。支出の合計金額129,294,173円は、前年度と比較して7,263,270円の減少となっており、企業債償還金の減少が主な要因となっています。